

平成30年度  
事業計画書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

公益財団法人 国際科学振興財団

## 平成 30 年度事業計画

### 【公 1 事業】

(趣旨)

・研究開発事業は、研究者としての実績等適切な資格を有する者又はその者らのチームによって基礎的研究から技術的開発にかかる事柄が実施される、学術及び科学技術の振興を図る事業です。

・学術会議等の主催・共催事業は、国際会議その他学術会議、科学技術セミナー、自然科学講座（以下「学術会議等」といいます。）を主催又は共催し、研究開発・学術交流・専門的知識の普及を促進し、学術、科学技術の振興を図る事業です。

### 1、社会科学（5テーマ）

#### (1) -①ハイパーソニック・エフェクトの研究

-②ハイパーソニック・エフェクトの精神・神経疾患治療応用研究

財団主席研究員	大橋 力
財団上級研究員	河合 徳枝

#### (2) 超高輝度 X 線発生装置製品化のための基礎研究

財団特任主席研究員	坂部 知平
財団特任研究員	坂部 貴和子

#### (3) 新たな心理テストの開発ー産業人の心理ストレスの把握ー

とよさと病院附属筑波社会精神医学研究所  
佐藤 親次

#### (4) 津波防災研究及び津波防災に関する国際連携プラットフォーム構築の研究

財団特任主席研究員	丸山 茂徳
理化学研究所主任研究員	戎崎 俊一

### 2、物質科学（5テーマ）

#### (1) 新規有機硫黄化合物の合成研究

財団主席研究員	赤阪 健
---------	------

#### (2) 有機合成、有機分解反応における炭素ーヘテロ原子結合の導入とその反応に関する研究ー

財団主席研究員	古川 尚道
財団主席研究員	赤阪 健
財団兼任研究員	古川 真

(3) メタマテリアルを用いた薄型電波吸収体の研究  
防衛大学校准教授 道下 尚文

(4) 形状記憶合金の開発と基礎研究  
財団主席研究員 宮崎 修一

(5) 超高压力実験技術の高度化  
筑波大学名誉教授 若槻 雅男

### 3、情報科学 (8 テーマ)

(1) -①移動通信用アンテナの研究  
-②電磁メタマテリアルによる電波障害の改善研究  
防衛大学校准教授 道下 尚文

(2) -①小型アンテナおよび車載アンテナに関する研究  
-②高誘電率材料を用いたマルチバンドアンテナの小型化に関する基礎研究  
-③将来レーダに関する広帯域小型アンテナの研究  
-④電磁波散乱現象評価のための測定と計算  
防衛大学校教授 森下 久

(3) -①21世紀型顧客ニーズ瞬時製品化対応生産方式の研究開発  
-②Smart Gas Control for Semiconductor Manufacturing の研究開発  
東北大学特任教授 白井 泰雪  
財団研究員 仁平 繁通

### 4、生命科学 (25 テーマ)

(1) -①細胞認識機能を有するバイオマテリアルの設計とその医学・薬学への応用  
-②炭酸アパタイトの機能性・安全性・安定性に関する研究  
-③肝臓ターゲティング糖鎖の設計と遺伝子送達材料の開発  
財団主席研究員 赤池 敏宏  
財団主幹研究員 後藤 光昭  
財団研究員 SIEW SOKE LEE  
財団研究員 関 禎子

(2) Gタンパク質の作用機構と疾患—Gタンパク質共役受容体の新しい制御—  
聖マリアンナ医科大学特任教授  
飯利 太朗

- (3) 時間分子細胞生物学研究  
財団主席研究員 石田 直理雄  
財団研究員 川崎 陽久
- (4) 外科学に関する研究－低侵襲手術の開発と教育－  
東京慈恵会医科大学外科学講座統括責任者  
大木 隆生
- (5) 大進化の分子機構  
財団主席研究員 岡田 典弘
- (6) 受精のしくみに関する研究－動物・植物を通じた受精の本質の概念的認識－  
大阪大学微生物病研究所招聘研究員  
岡部 勝
- (7) 生物機能の基礎解析および応用研究  
筑波大学教授 小林 達彦
- (8) 集学的癌治療に関する研究  
－ゲノム情報に基づいた「がん」の定量的悪性度評価－  
地域医療機能推進機構下関医療センター院長  
佐々木 功典
- (9) バイオ／ライフサイエンスに係る先駆的創造的研究の推進  
－最新の技術的な進展とゲノム情報とを取り入れた人類の健康と長寿に  
資する研究－  
財団特任主席研究員 西村 暹  
財団主席研究員 岡田 典弘  
財団研究員 岩崎 裕貴
- (10) 胃切除後障害の診断・治療体系の確立  
東京慈恵会医科大学附属第三病院准教授  
中田 浩二
- (11) 遺伝子変異マウスを利用した生殖機構の解明  
筑波大学教授 馬場 忠
- (12) 脳神経外科領域における真皮縫合の有用性  
虎ノ門病院部長 原 貴行

- (13) 分子生物学的発生工学的なアプローチでの生命調節系遺伝子の機能発現と制御  
 —生活習慣病のエピゲノム応答ネットワークの解明—  
 筑波大学教授 深水 昭吉
- (14) バイオ人工肝臓の開発とその応用  
 東京慈恵会医科大学教授 松浦 知和
- (15) 脳卒中の予防と治療に関する研究  
 筑波大学教授 松丸 祐司
- (16) 脳神経外科疾患に対する集学的治療の研究  
 筑波大学附属病院病院長 松村 明
- (17) ヒト血管内皮細胞の増殖と機能の制御に関する研究  
 財団特任研究員 三ツ井 洋司
- (18) 外科腫瘍学ならびに胎児外科に関する研究  
 いわき明星大学学長 山崎 洋次
- (19) 脳卒中に関する研究  
 健和会大手町病院主任部長 米田 浩
- (20) ①,②「こころ」が遺伝子ON/OFFに及ぼす影響に関する研究  
 —快情動の脳内ネットワーク形成における分子基盤の解明—  
 —陽性感情の作用機序とその分子基盤の研究—  
 心と遺伝子研究会  
 財団主席研究員 村上 和雄  
 財団研究員 堀 美代  
 財団研究員 坂本 成子  
 財団研究員 大西 英理子  
 東京家政大学教授 大西 淳之
- (21) 脳外傷後高次脳機能障害に対する Iomazenil SPECT 共同研究  
 東北大学名誉教授 森 悦朗
- (22) 感音難聴の基礎的研究—病態モデルを用いた蝸牛病態の解明—  
 筑波大学医学医療系准教授 和田 哲郎

5、環境科学 (2 テーマ)

(1) バイオエコシステムを活用した環境保全再生技法の開発

財団主席研究員 稲 森 悠 平

財団主任研究員 稲 森 隆 平

財団研究員 類 家 翔

(2) 土壌線虫類の計測による線虫相の解明

財団主席研究員 古 川 尚 道

6、学術会議等の主催・共催 (1 テーマ)

(1) 「国際津波防災学会」の設立・運営

国際津波防災学会役員会